

## 服部新佐\*：日本産苔類の疑問種（4）

Sinske HATTORI:\* Notes on little known Japanese species  
of Hepaticae (4)

以下に論及する苔類は一、二を除き何れも簡単な原記載以外には何等参考とすべき文献のない疑問種であつた。幸いに先年 Dr. C. E. B. Bonner の好意により、ジュネーブの Stephani Herbarium のタイプ標本を借覧し、長年の疑問を氷解することが出来た。同氏に対して深謝する。

*Madotheca conducuplicata* Steph. ジュネーブより借覧した3点の標本中、土佐産 (no. 47) と他の1点 (満州産) は *Porella ulophylla* の生態的一型 (余り葉縁のちぢれない型) であつて、残りの1点は *P. vernicosa* に含まるべきものであつた。右の3品中 no. 47 が type と断定されるので、本種は *P. ulophylla* の異名となる。

*Madotheca heterophylla* Steph. type と断定される植松氏採品 (伊勢長野産) は *Porella japonica* と全く同一であつた。従つて本種は我国中部より南方へと広く分布し、且つ変化に富む *P. japonica* の異名となる。

*Madotheca kojana* Steph. 本種の type (紀伊高野山産) は *Porella densifolia* の一型と認められた。後者は日本～台湾～支那～印度 (ヒマラヤ) と分布の広い而も変化の多い種であつて、本種をその variety 又は forma などとして区別する必要は考えられない。

*Madotheca pusilla* Steph. type は前掲 *M. heterophylla* と同時に植松氏が伊勢長野で採集したものである。検鏡の結果 *M. heterophylla* 同様 *Porella japonica* の異名に列すべきものであつた。但しこの資料は小形で、葉や腹葉が鈍頭～亜載頭で、縁歯は殆ど消失する。私は今迄百を超える標本を検鏡して、その変化の大凡そを承知しているが、この type の示す形態上の差異も環境条件などに依るものであり、従つて var. *pusilla* などとして区別する必要はないと思う。

*Madotheca rikuzana* Steph. 先に私 (服部植物研報, 8号: 28, 昭和27年) は本種に言及して *Porella ulophylla* の “a form having not so undulate leaves” と書いたが、これは主として Stephani の *Icones Hepaticarum* (inedit.) によるものであつた。その後 type を借覧した結果、前記 *M. conducuplicata* と同様に多型的な *P. ulophylla* の生態的一型に過ぎないことを確めた。

*Madotheca wakawana* Steph. 先に私 (前掲書: 27) は本種を *P. grandiloba* の異名に列した。これは前種同様主として Stephani, *Icones Hepaticarum* に基いて決定し

\* 財団法人服部植物研究所, 日南市, 宮崎県. Hattori Botanical Laboratory, Nichinan City, Kyushu, Japan.

たものであるが、借覧した type 標本の研究結果も右と同一であつた。

*Metzgeria duricosta* Steph. type 標本 (済州島産) を調べた所、*M. pubescens* と同一であつた。

*Symphogyna gigantea* Steph. 本種も簡単な原記載以外頼りになる文献や記録もなく、長い間正体不明のままであつた。私は本属の苔類が果して我国に分布しているか非常に疑問としていたが、幸い先般 type (1904 年 Faurie 師が姥湯で採集) を借覧することが出来た。検鏡の結果、意外にもそれはマキノゴケであつた。従つて *Symphogyna* 属 (邦産は *S. gigantea* のみ) は予想通り我国フロラから除外されることになる。

*Aneura koyensis* Steph. 本種も簡単な原記載により紀伊高野山に産する記録があるだけで、久しくその正体を掴むことが出来なかつた。先般貧弱な type を詳しく調べた所、1 個体に Calyptra 1 個と Androecia (短棒状で雄器は凡そ 4 対) 若干をつけた植物体 2 個を見出した。原記載に“dioica”とあるのは誤りであり (Stephani にはこのようなミスが老年に多い)、高野山に記載文に該当する苔類が見付からなかつたのは当然である。以上の観察により私は本種を *Riccardia sinuata* の異名におちるものと考えらる。

*Anthoceros japonicus* Steph., *A. koreanus* Steph., *A. miyoshianus* Steph. 及び *A. nordenskjöldii* Steph. 4 種共原記載以外には記録皆無の疑問種であつた。type 標本を調べた結果、何れも原記相文に大小の見誤りがあつたことが判り、結局 4 種共 *Phaeoceros laevis* の異名となるのであるが、以下簡単に各種について説明する。先ず *A. japonicus* の type (北海道釧路産) であるが、葉状体の幅は約 7mm、長さ 15mm、内部に空胞なく、包膜は左程多からず (原記載には *geminata*, *valde numerosa* とあり)、長さ 3mm、孢子体の長さ 2cm 余り (原記載には 4mm とあり)、孢子は淡黄色、直径 35-40 $\mu$ 、表面微疣状、偽弾糸の長さ 100-150 $\mu$  であつた。*A. koreanus* の type (済州島産) は葉状体の長さ 2cm、幅 7mm 内外、内部に空胞なく、包膜の長さ 2mm 余、孢子体の長さ 20mm 内外、孢子は淡黄色、直径 35-40 $\mu$ 、表面微疣状、偽弾糸の長さ 100-200 $\mu$  であつた。第三種 *A. miyoshianus* の標本は 3 点あり、土佐佐川産 (三好学)、土佐産 (牧野富太郎) 及び長崎産 (U. Faurie) で、何れも前述の如く *Ph. laevis* に一致するが、type は佐川産 (no. 5) と判定される。タイプ標本は体長約 15mm、幅 5mm、内部に空胞を欠き、包膜は長さ 5mm に近く、孢子体は長さ 30-35mm、孢子は淡黄色、直径 30-40 $\mu$ 、表面微疣状、偽弾糸の長さ 100-150 $\mu$  であつた。長崎産の標本は体長 10mm 余、幅 6mm、内部に空胞無く、包膜の長さ約 3mm、孢子体の長さ 25mm、孢子は淡黄色、直径 30-40 $\mu$ 、表面微疣状、偽弾糸の長さ凡そ 100 $\mu$  であつた。残りの 1 点は計測を略するが、type と“torulosus”型 (*A. laevis* L. fo. *torulosus* Hatt. は生態型と考えるに至つた) との中間的な標本であつた。最後に *A. nordenskjöldii* であるが、この type は群馬県伊香保産である。葉状体は長さ 10-15mm、幅 6mm、

内部に空胞なく、包膜は 2-25 mm, 胞子体は 30 mm に近く、胞子は淡黄色、直径 35-40  $\mu$ , 表面微疣状、偽弾糸は 80-180  $\mu$  であつた。以上 4 種の記相文中最後の *A. nordenskjoeldii* の外は凡て葉状体が *cavernosa* となつているのは Stephani の見誤りであろう。4 種共空胞のないこと既述の通りである。

*Ptilidium jishibae* Steph. 本種は日本特産の疑問種であるが、*Pt. pulcherrimum* の異名におちるものと考えられる(服部外, 服部植研報 9号: 17, 昭和 28 年)。後者は雌雄異株であるが、本種の原記載には *autoica* とある。私は恐らく Stephani の見誤りと思つていたが、type を調べて雌雄異株であることを確めた。Stephani Herbarium より借覧した標本は信濃夏沢峠産(飯柴永吉)と濟州島産(U. Faurie)の 2 点である。前者が type となるものであるが何れも *Pt. pulcherrimum* と同一であつた。

- Porella grandiloba* Lindb. in Acta Soc. Sci. Fenn. **10**: 234 (1872).  
Syn. *Madotheca wakawana* Steph., Spec. Hepat. **6**: 529 (1924)—vidi typum.  
Hab. Japonia: Tosa. Leg. Wakawa no. 47—type! without date.
- Porella densifolia* (Steph.) Hatt. in Journ. Jap. Bot. **20**: 109 (1944).  
Syn. *Madotheca kojana* Steph., Spec. Hepat. **4**: 313 (1910)—Syn. nov. (vidi typum).  
Hab. Japonia: Koya in prov. Kii, Coll. Uematsu no. 22—type, without date.
- Porella japonica* (Sde. Lacoste) Mitt. in Trans. Linn. Soc. London 2, **3**: 202 (1891). Syn. *Madotheca heterophylla* Steph., Spec. Hepat. **6**: 522 (1924)—syn. nov. (vidi typum).  
*Madotheca pusilla* Steph., Spec. Hepat. **6**: 526 (1924)—syn. nov. (vidi typum).  
Hab. Japan: Ise, Nagano, Leg. E. Uematsu no. 129—type of *Madotheca heterophylla*, Jan. 2, 1908, Leg. E. Uematsu no. 109—type of *Madotheca pusilla*, Jan. 2, 1908.
- Porella ulophylla* (Steph.) Hatt. in Journ. Jap. Bot. **20**: 111 (1944).  
Syn. *Madotheca conduplicata* Steph. ex Nakanishiki in Bot. Mag. Tokyo **19**: 266 (1905) sine descr.; Steph., Spec. Hepat. **4**: 298 (1910)—syn. nov. (vidi typum).  
*Madotheca rikuzana* Steph., Spec. Hepat. **6**: 527 (1924)—vidi typum.  
Hab. Japonia: Tosa, no. 47 (leg. et dat. ign.), type of *Madotheca conduplicata*; Shiogama in prov. Rikuzen, Leg. E. Uematsu, Oct. 6, 1907, type of *Madotheca rikuzana*.
- Makinoa crispata* (Steph.) Miyake in Bot. Mag. Tokyo **12**: 21 (1899).  
Syn. *Symphyogyna gigantea* Steph., Spec. Hepat. **6**: 67 (1917)—syn. nov. (vidi

typum).

Hab. Japonia: Ubayu, Leg. U. Faurie no. 1470—type of *Symphyogyna gigantea*, ann. 1904.

○*Riccardia sinuata* (Dicks.) Trev. in Mem. R. Istit. Lombardo Sci. 3, 4: 431 (1877).

Syn. *Aneura koyensis* Steph. ex Nakanishiki in Bot. Mag. Tokyo 20: 64 (1906) sine descr.; Steph., Spec. Hepat. 6: 31 (1917)—syn. nov. (vidi typum).

Hab. Japan: Koya, Kii, coll. ign. no. 34—type, sine dat.

○*Metzgeria pubescens* (Schrank) Raddi in Mem. Soc. Ital. Sci. Modena 18: 46 (1818).

Syn. *Metzgeria duricosta* Steph., Spec. Hepat. 6: 50 (1917)—syn. nov. (vidi typum).

Hab. Korea: Insula Quelpaert, U. Faurie no. 223—type of *Metzgeria duricosta*, ann. 1907.

○*Phaeoceros laevis* (L.) Proskauer in Bull. Torrey Bot. Club 78: 346 (1951).

Syn. *Anthoceros japonicus* Steph., Spec. Hepat. 5: 987 (1916)—syn. nov. (vidi typum).

*Anthoceros koreanus* Steph., Spec. Hepat. 5: 987 (1916)—syn. nov. (vidi typum).

*Anthoceros miyoshianus* Steph., Spec. Hepat. 5: 988 (1916)—syn. nov. (vidi typum).

*Anthoceros nordenskjöldii* Steph., Spec. Hepat. 6: 428 (1923)—syn. nov. (vidi typum).

Hab. Japan: Yezo, Sud-ouest, Collines de Kushiro, 10. 9. 1902, Leg. U. Faurie no. 8704—type of *Anthoceros japonicus!* Korea: insula Quelpaert, 5. 10. 1906, Leg. U. Faurie no. 77—type of *Anthoceros koreanus!* Japan: Tosa, Sakawa, Apr. 1894, Leg. Miyoshi no. 5—type of *Anthoceros miyoshianus!* Tosa, Leg. T. Makino s. n. (33), det. Stephani as *Anthoceros miyoshianus!* Nagasaki, Mai 1901, Leg. Faurie no. 955, det. Stephani as *Anthoceros miyoshianus!* Japan: Ikao, in ann. 1897, Leg. Nordenskjöld, type of *Anthoceros nordenskjöldii!*

○*Ptilidium pulcherrimum* (Web.) Hampe, Prodr. Fl. Hercyn. 76 (1836).

Syn. *Peilidium jishibae* Steph., Spec. Hepat. 6: 370 (1923)—vidi typum.

Hab. Japan: Mont Natsuzawa, Shinano, 28. VIII. 1903, Coll. Y. Yishiba no. 207—type of *Ptilidium jishibae!* Korea: Insula Quelpaert, in ann. 1907, Leg. Faurie no. 202, det. Stephani as *Ptilidium jishibae!*